

# メータユニット O リング交換マニュアル

[東京都ステンレス埋設配管協議会]

メータユニット分科会

株式会社マルホン

前澤給装工業株式会社

株式会社光明製作所

株式会社タブチ

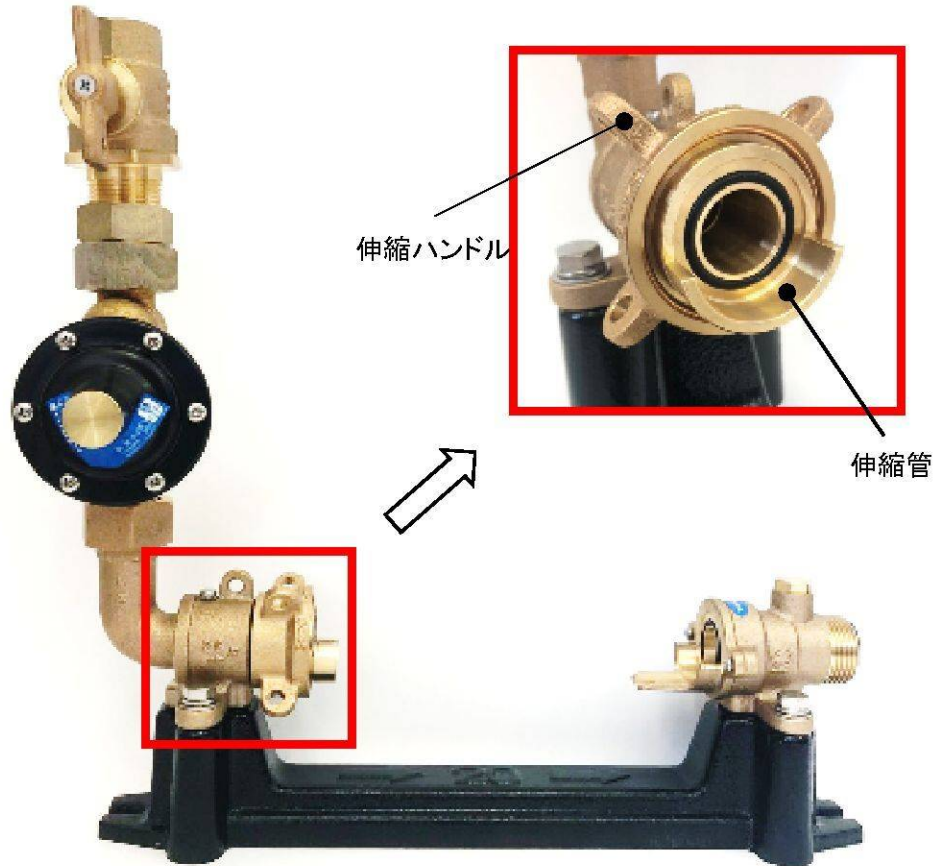
株式会社日邦バルブ

株式会社キッツ

# メータユニット 伸縮管 Oリング交換手順

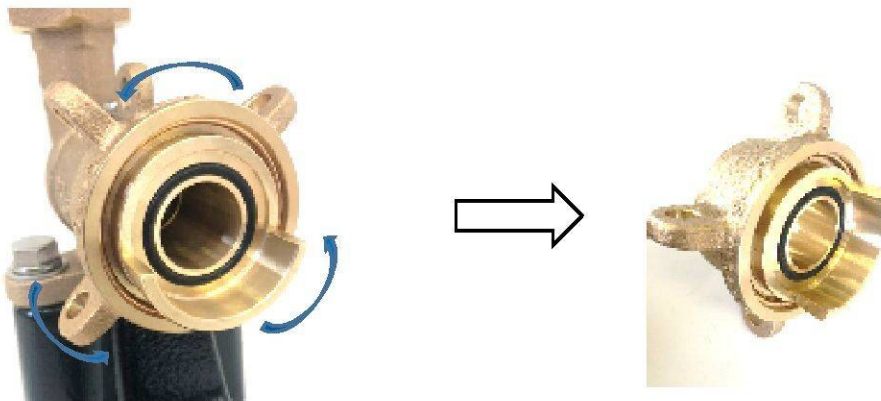
株式会社マルホン

メータユニット 外観



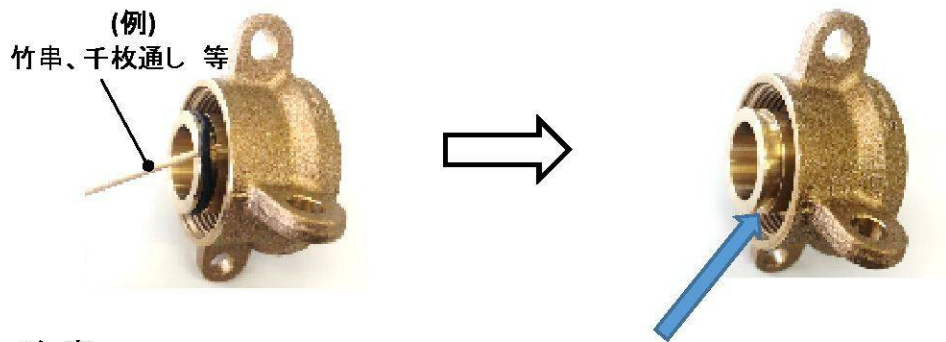
## 交換手順

1. 伸縮ハンドルを矢印の方向へ回転させ、伸縮管を取り外します。



2. 伸縮管を手に取り、先端が尖っているものを用いてリングを外します。

株式会社マルホン



※注意:千枚通しなどの金属製のものを使用する場合、リング溝には傷がつかないように注意して下さい。

○伸縮管を取った際に、付着した、水垢・緑青を敵宜綿棒、ウエス等で拭き取ってください。

3. 新しいリングにグリスを塗り、リングをリング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込みます。

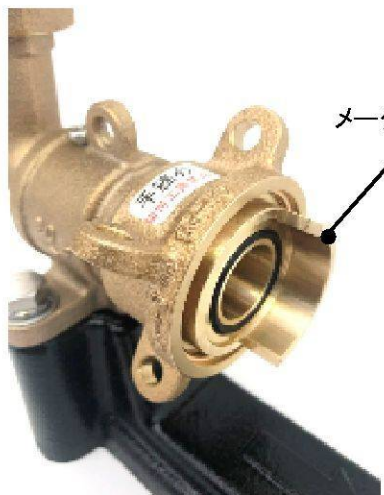


4.再度取り付ける際、写真の溝の部分と、位置決めビスの部分を合わせ伸縮ハンドルを右に回し、取り付けてください。

株式会社マルホン



○注意点を下記します。



溝の部分と位置決めビスがあていない場合  
左記のように、メーター受け部がずれてしま  
います。



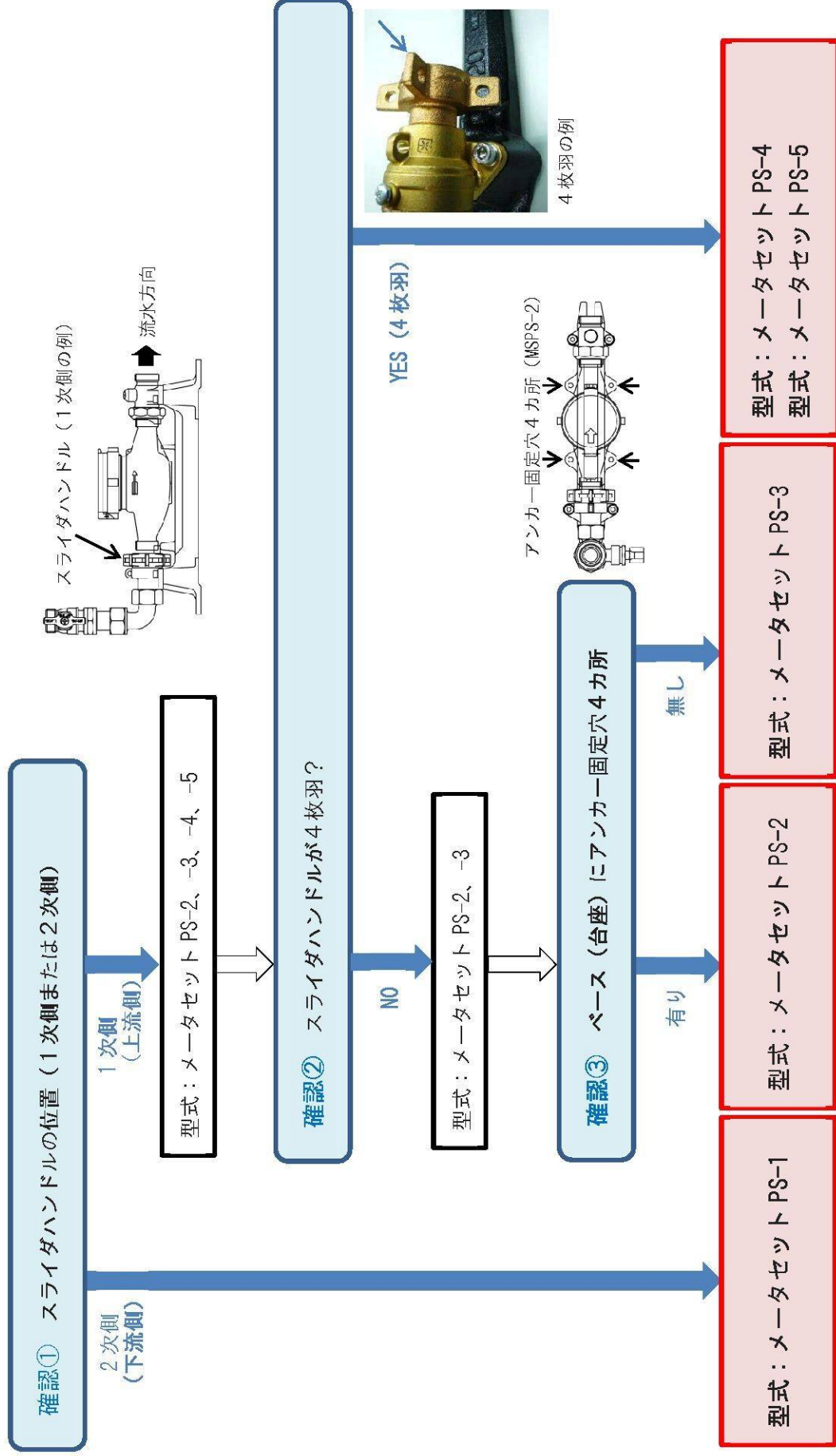
メーター受け部を真下にした状態が溝の部分と位  
置決めビスが合致したことになります。





# 前澤給装工業株式会社

メータセット PS 型式判別表 (呼び径 13、20、25)



注意 0リング交換の際は必ず別紙手順書を参照してください。

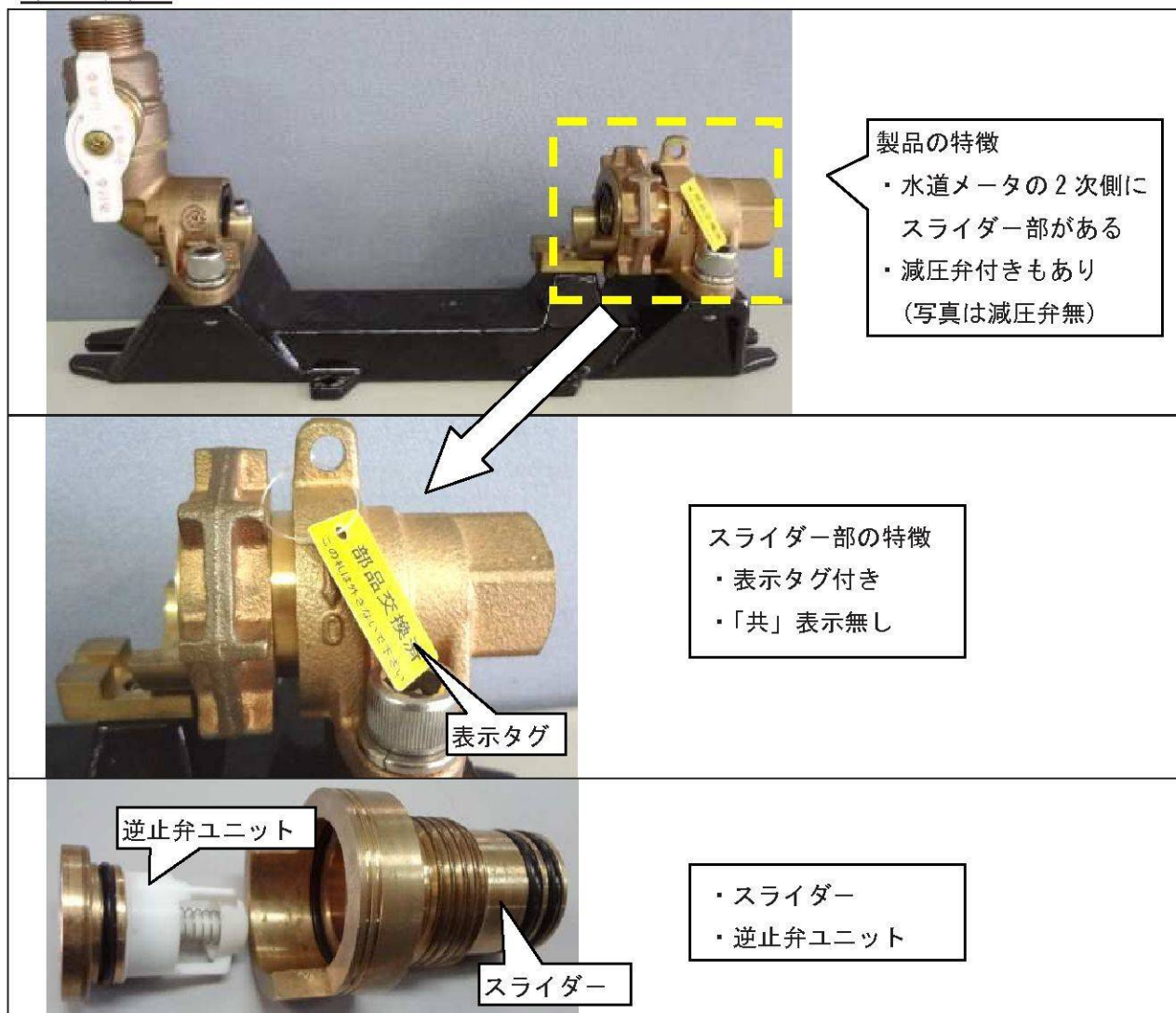
# 前澤給装工業株式会社 メータセット PS-1 メータ接続部 Oリング交換手順書

## 実施内容

弊社メータセット PS-1・メータ接続部・スライダの O リングを交換する際は、以下の手順で行って下さい。

作業を行う際には、1 次側のボール止水栓を閉じて、作業終了後はボール止水栓を開けて下さい。

## 該当製品



0 リングのサイズ表

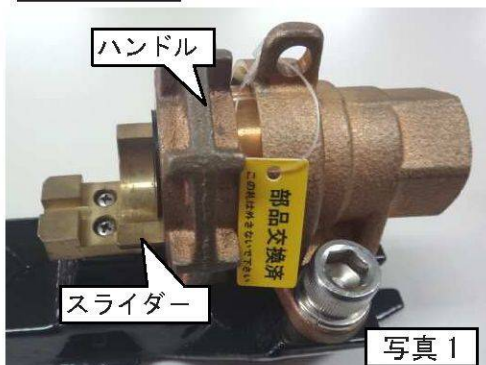
呼び径	0 リングサイズ	材質
13	P20 ×2 本	NBR 又は EPDM
20	P25 ×2 本	NBR 又は EPDM
25	P29 ×2 本	NBR 又は EPDM

## 使用工具

- ① (+) ドライバー：推奨サイズ 呼び番号 2 (軸の太さ 6 mm 程度)
- ② (-) ドライバー：推奨サイズ 先端幅 3~5.5 (細めの (-) ドライバー)

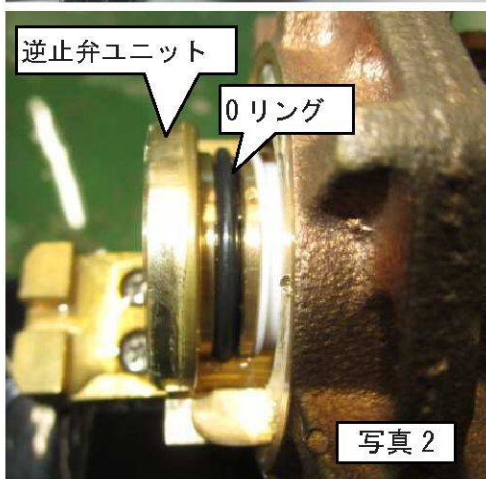


## 作業手順



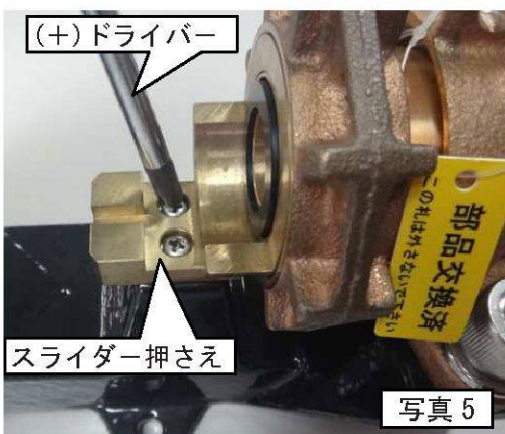
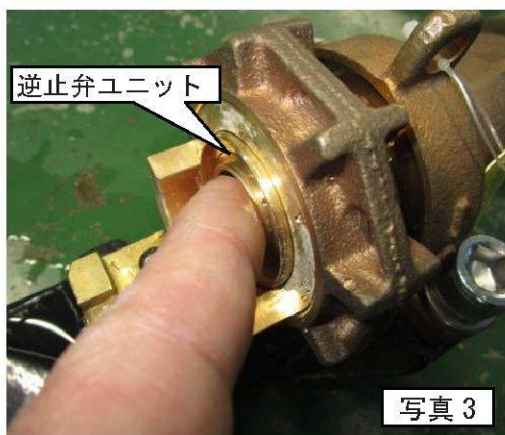
### 手順1

- ・ハンドルを「0」方向へ回し、スライダーを写真1に示す位置まで戻します。



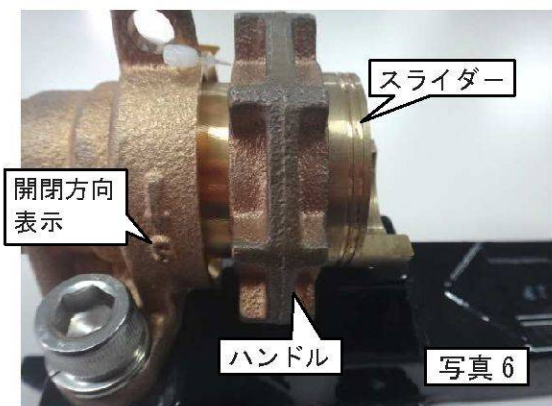
- ・水道メータを取り外した時、2次側の水圧により、逆止弁ユニットが水道メータ側に出て来ます。  
\*この時、2次側の戻り水が発生します。  
(戻り水の量は、配管の状況等によって異なります。)

- ・逆止弁ユニットは、スライダー内部へ再度取り付けます。  
逆止弁の取り付けは、スライダーに真直ぐ押し込んで下さい。  
(写真2、3、4)
- \*逆止弁ユニットはOリングで止水を行っていますので、再度取り付ける前にOリングにキズ、変形、異物の付着、溝からのOリングのはみ出し等の異常がない事を確認して下さい。  
(写真2)



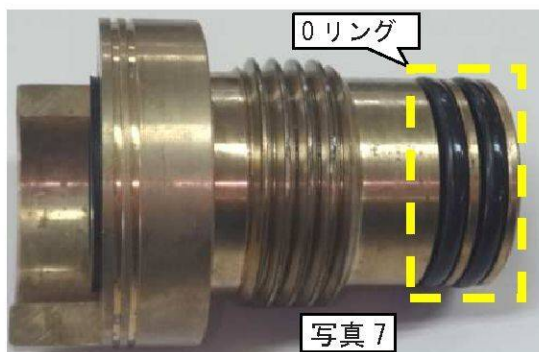
### 手順2

- ・スライダー押さえを固定しているねじを(+ )ドライバーで取り外します。
- ・ドライバーで外す時に、ねじの頭がなめないようにしっかりと押し付けて回して下さい。  
(写真5)



### 手順3

- ・ハンドルを「S」方向へ回し、スライダーを取り外して下さい。(写真6)

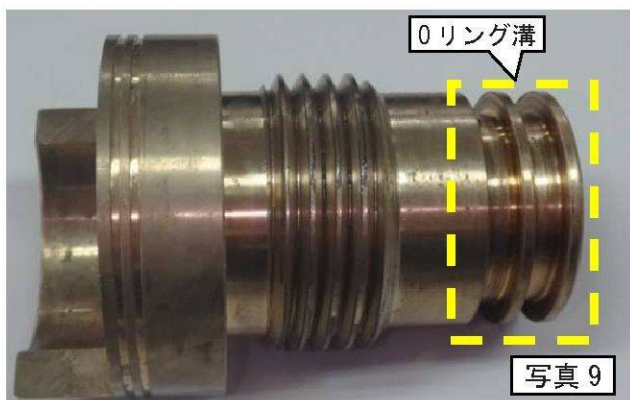
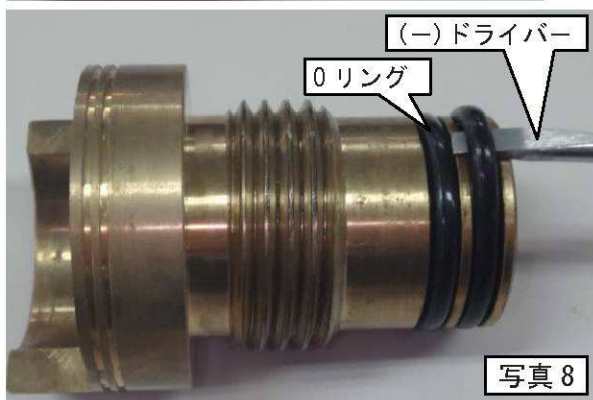


### 手順4

- ・スライダーのOリングを取り外して下さい。  
(-)ドライバー等を使用してOリングを溝から取り外して下さい。(写真7、8)

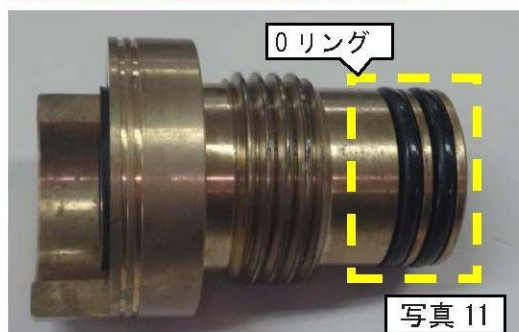
### 手順5

- ・Oリングを取り外したスライダーのOリング溝に、異物の付着等がない事を確認して下さい。
- ・Oリング溝に異物が付着している場合には、ペーパータオル等で清掃して下さい。(写真9)

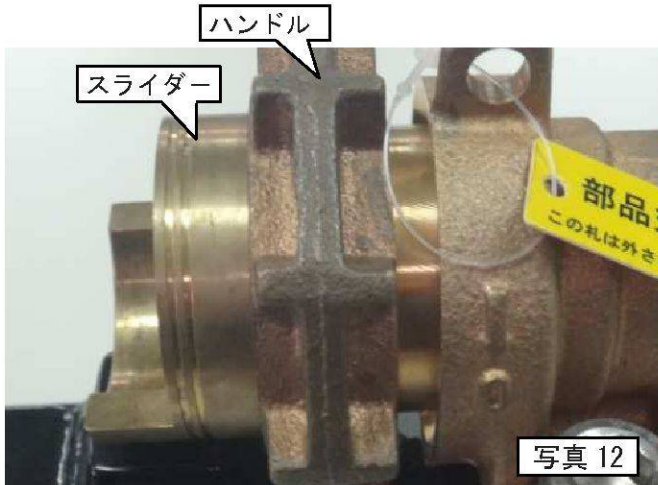


### 手順6

- ・新しいOリングをスライダーのOリング溝に取り付けます。(写真10)
- ・Oリングを取り付け後、キズ、ねじれ、等の異常がない事を確認して下さい。(写真11)

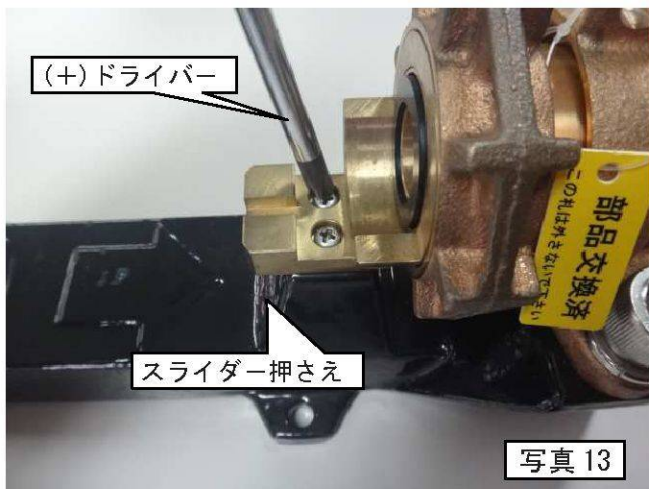






#### 手順 7

- ・ハンドルを「0」方向へ回し、スライダ-を取り付けて下さい。  
(写真 12)



#### 手順 8

- ・スライダ-押さえを固定しているねじを、  
(+)ドライバーで取り付けて下さい。  
(写真 13)

以上で 0 リング交換作業の終了になります。





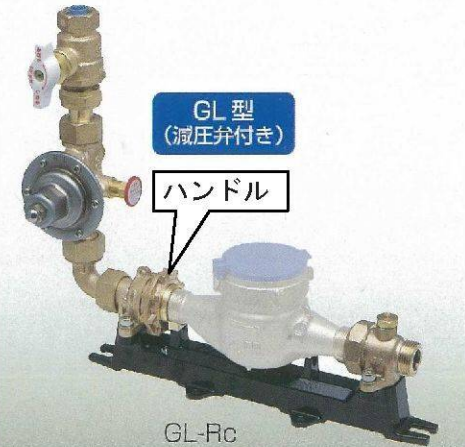

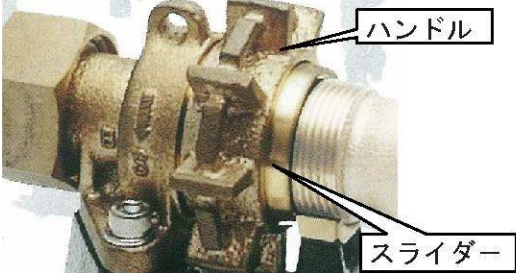
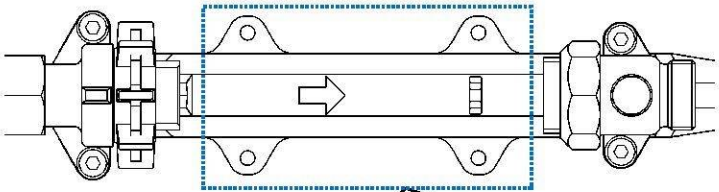
# 前澤給装工業株式会社 メータセット PS-2/PS-3 メータ接続部 Oリング交換手順書

## 実施内容

弊社メータセット PS-2/PS-3・メータ接続部・スライダの Oリングを交換する際は、以下の手順で行って下さい。

作業を行う際には、1次側のボール止水栓を閉じて、作業終了後はボール止水栓を開けて下さい。

## 該当製品

 <p>GL-Rc</p>	 <p>GL型</p>
メータセット PS-2	メータセット PS-3
	<p>ハンドル部の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道メータの1次側</li> <li>・8角形状(4枚羽形状ではない)</li> <li>・ハンドルとスライダーが別部品</li> <li>・「共」表示無し</li> </ul>
 <p>アンカー固定部4ヶ所</p>	<p>PS-2 と PS-3 の相違点 (20のみ確認が必要になります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PS-2のベース(台座)には、中央部に4ヶ所のアンカー固定穴有り。</li> </ul>

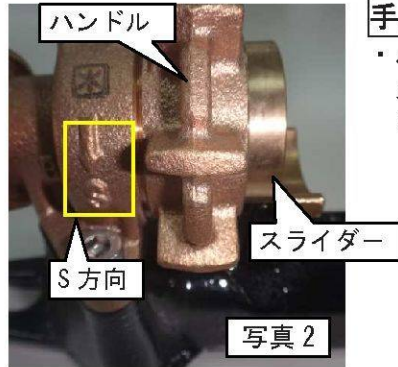
0リングのサイズ表

呼び径	型式	0リングサイズ	材質
13	PS-2・PS-3 兼用	P18 ×1本	NBR 又は EPDM
20	PS-2	P22.4 ×1本	NBR 又は EPDM
	PS-3	P22 ×1本	NBR 又は EPDM
25	PS-2・PS-3 兼用	P28 ×1本	NBR 又は EPDM

## 使用工具

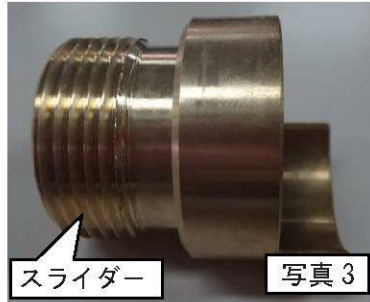
- ①(-)ドライバー：推奨サイズ 先端幅 3~5.5 (細めの(-)ドライバー)

## 作業手順 (PS-2・PS-3 共通)



### 手順1

- ・ハンドルを表示の「S」方向へ回し、スライダを取り外します。(写真1、2)

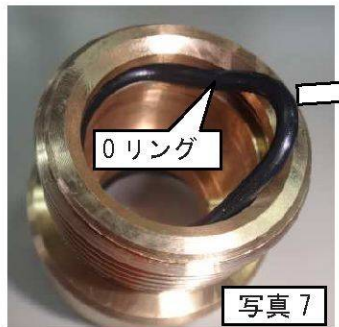
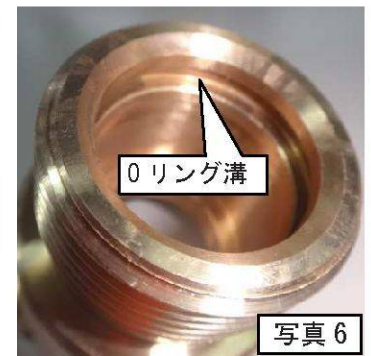
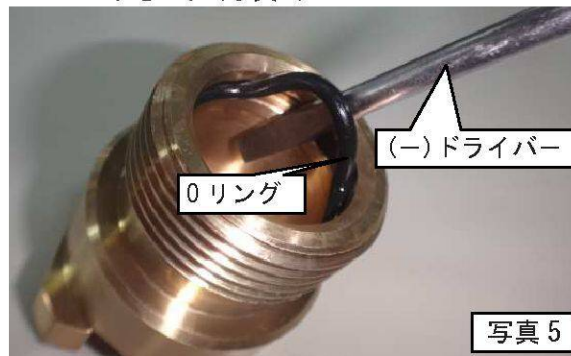


### 手順2

- ・スライダの内側に付いているOリングを取り外して下さい。Oリングを溝から(-)ドライバー等を使用してOリング溝から取り外して下さい。(写真3、4、5)

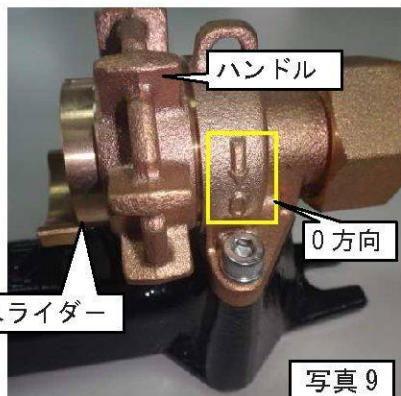
### 手順3

- ・Oリングを取り外したスライダのOリング溝に、異物の付着等がない事を確認して下さい。(写真5)
- ・Oリング溝に異物が付着している場合は、ペーパータオル等で清掃して下さい。(写真6)



### 手順4

- ・新しいOリングをスライダのOリング溝に取り付けます。(写真7)
- ・Oリングを取り付け後、キズ、ねじれ、等の異常がない事を確認して下さい。(写真8)



### 手順5

- ・ハンドルを表示の「O」方向へ回し、スライダに取り付けます。(写真9)

以上でOリング交換作業の終了になります。





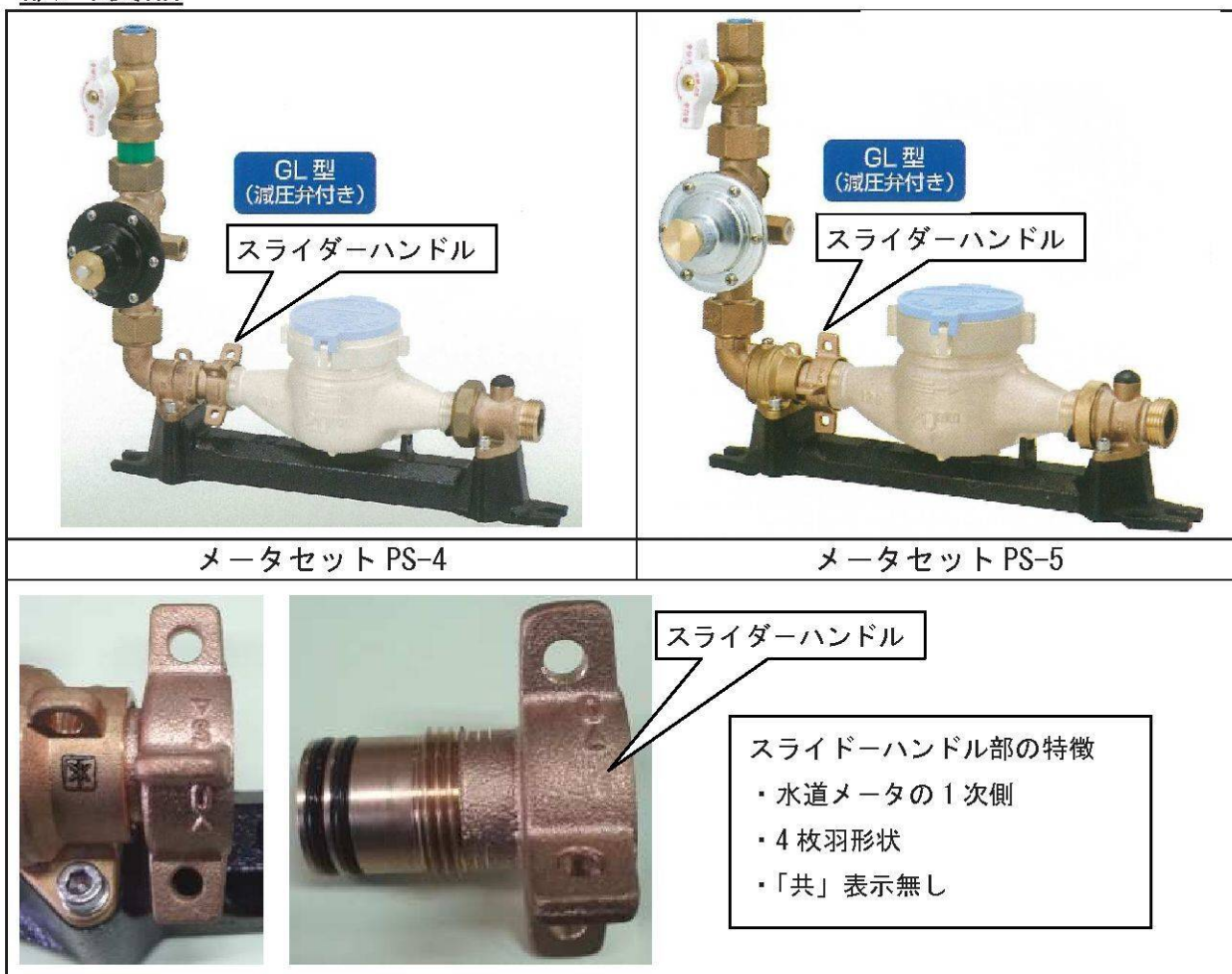
# 前澤給装工業株式会社製メータセット PS-4/PS-5 メータ接続部 Oリング交換手順書

## 実施内容

弊社メータセット PS-4/PS-5・メータ接続部・スライダ－ハンドルの Oリングを交換する際は、以下の手順で行って下さい。

作業を行う際には、1次側のボール止水栓を閉じて、作業終了後はボール止水栓を開けて下さい。

## 該当製品



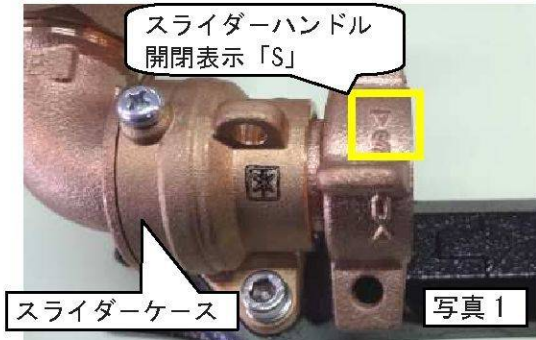
0リングのサイズ表

呼び径	0リングサイズ		材質	備考
13	PS-4/PS-5 兼用	P16 ×2 本	NBR 又は EPDM	「共」表示付製品と0リングは同サイズ
20	PS-4/PS-5 兼用	P21 ×2 本	NBR 又は EPDM	0リング1本の製品も有り 0リングは同サイズ
25	本型式の製品は無し			

## 使用工具

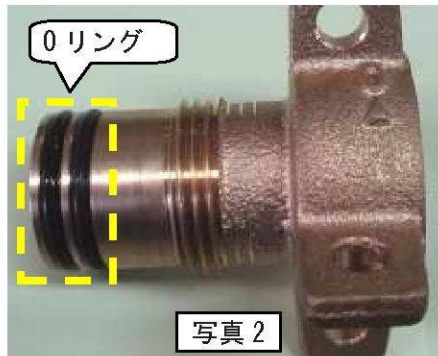
- ①(-)ドライバー：推奨サイズ 先端幅 3～5.5 (細めの(-)ドライバー)

## 作業手順 (PS-4/PS-5 共通)



### 手順1

- ・スライダーハンドルを表示の「S」方向へ回し、スライダーハンドルをスライダーケースから取り外します。(写真1)

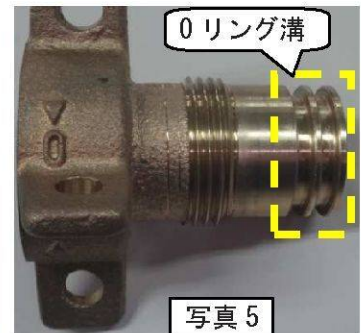
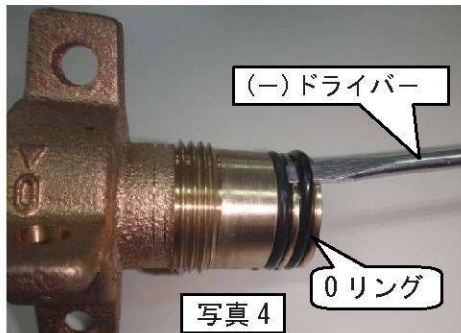


### 手順2

- ・スライダーハンドルの0リングを取り外して下さい。(写真2)
- ・0リングを手で溝から伸ばし取り外して下さい。(写真3)
- ・又は(-)ドライバー等を使用して0リング溝から取り外して下さい。(写真4)

### 手順3

- ・0リングを取り外したスライダーハンドルの0リング溝に、異物の付着等がない事を確認して下さい。(写真5)
- ・0リング溝に異物が付着している場合には、ペーパータオル等で清掃して下さい。



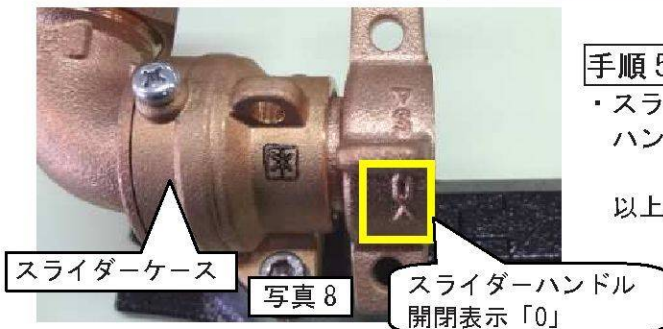
### 手順4

- ・新しい0リングをスライダーハンドルの0リング溝に取り付けます。(写真6)
- ・0リングを取付後、キズ、ねじれ、等の異常がない事を確認して下さい。(写真7)

### 手順5

- ・スライダーハンドルを表示の「0」方向へ回し、スライダーハンドルをスライダーケースに取り付けます。(写真8)

以上で0リング交換作業の終了になります。





株式会社 光明製作所 呼び径 20

確認① 台座が鋳鉄製（黒塗装）

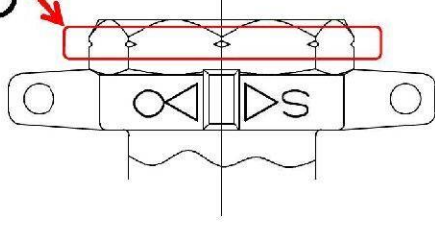


台座：鋳鉄製

確認② 台座がステンレス製（塗装なし）

台座：ステンレス製

V加工



確認③ 台座がステンレス製（塗装なし）  
スライドハンドルに識別用V加工

型式：MB09～MB16  
Oリング：P22  
使用本数：1本

型式：MB17～MB22  
Oリング：JASO-2023  
使用本数：1本

型式：MB17～MB22  
Oリング：JASO-2023  
使用本数：2本

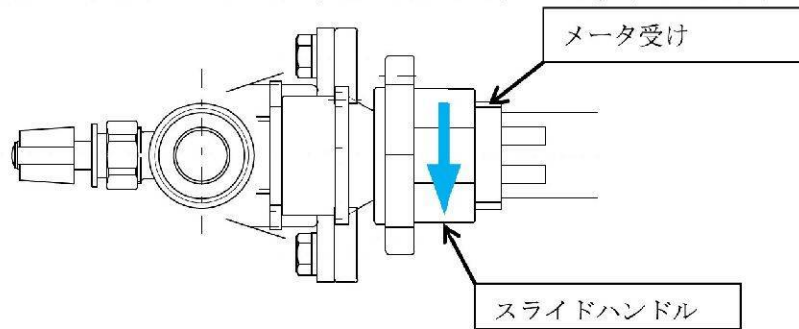
注意 Oリングの交換の際は必ず別紙「手順書」を参照してください。



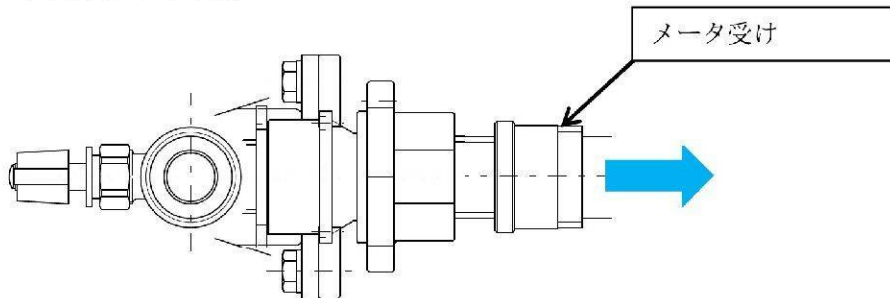
### メータユニット Oリング交換方法

型式：MB09～MB16

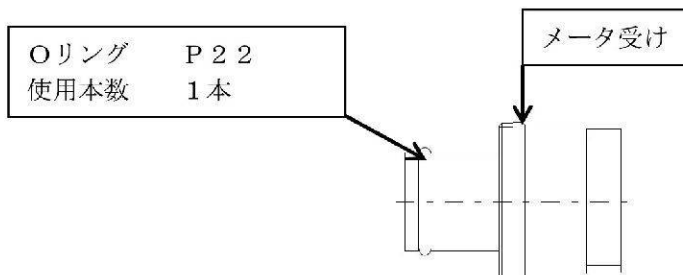
①一次側のスライドハンドルを二次側へ向かって右へ回す。(上からの図)



②メータ受けがでてくる。



③スライドハンドルを抜きとり、Oリング（P22）を交換する。

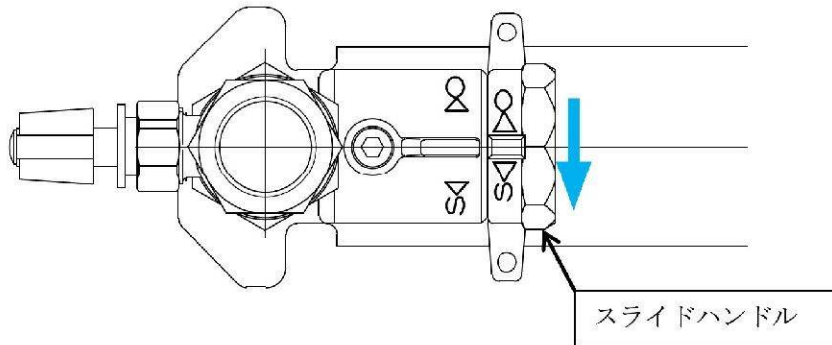


④メータ受けを挿し込み元通りに戻す。

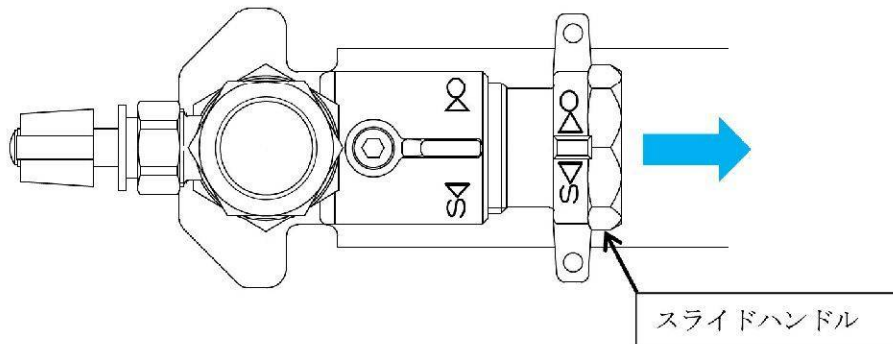
## メータユニット Oリング交換方法

型式：MB17～MB22

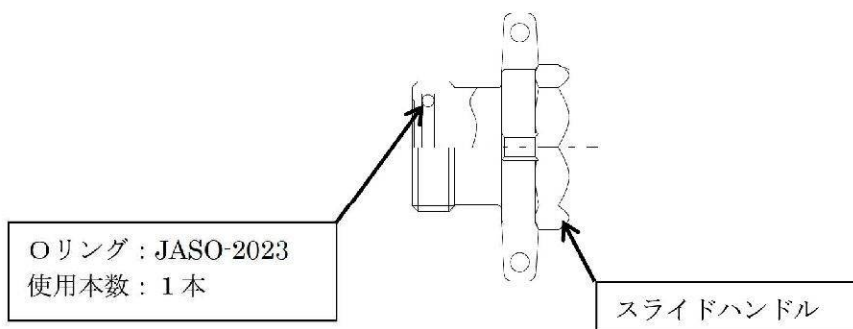
①一次側のスライドハンドルを二次側へ向かって右へ回す。(上からの図)



②スライドハンドルが出てくる。



③スライドハンドルを抜きとり、内側にあるOリング（JASO-2023）を交換する。

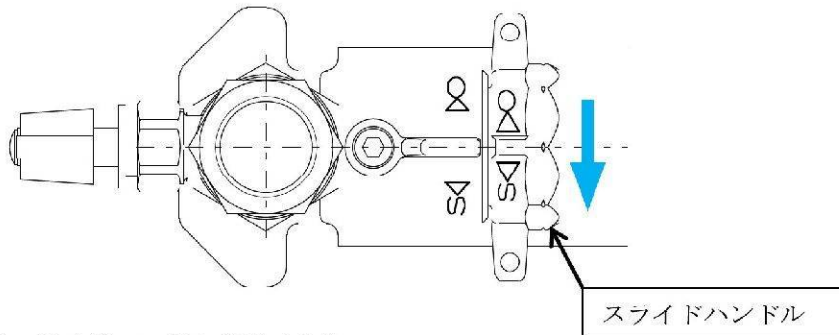


④スライドハンドルを元通りに戻す。

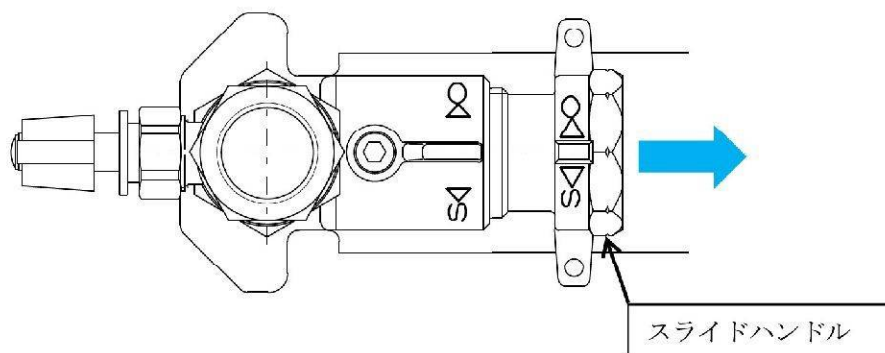
### メータユニット Oリング交換方法

型式：MB17～MB22 （Oリング 2本仕様）

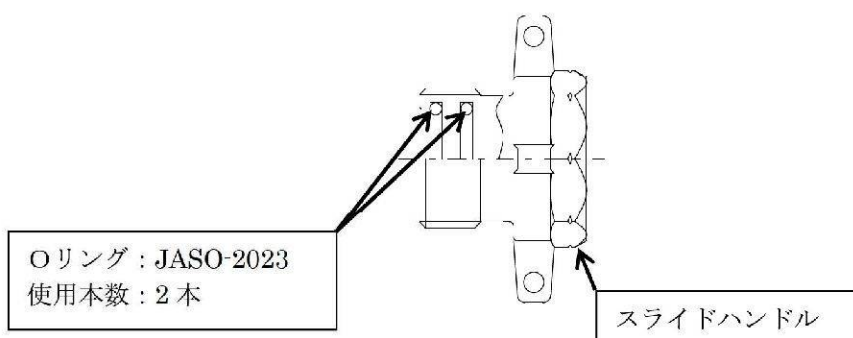
①一次側のスライドハンドルを二次側へ向かって右へ回す。（上からの図）



②スライドハンドルが出てくる。



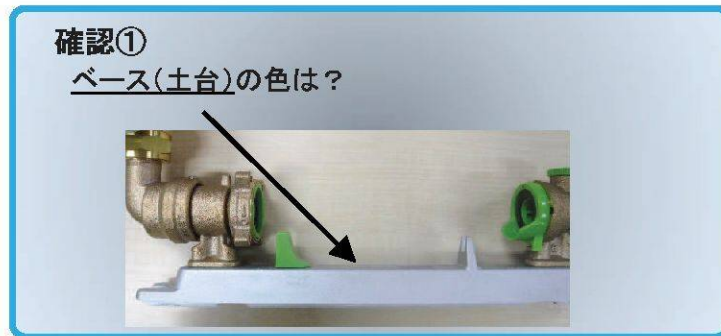
③スライドハンドルを抜きとり、内側にあるOリング（JASO-2023）を交換する。



④スライドハンドルを元通りに戻す。

# メータユニットの伸縮部リングの確認方法

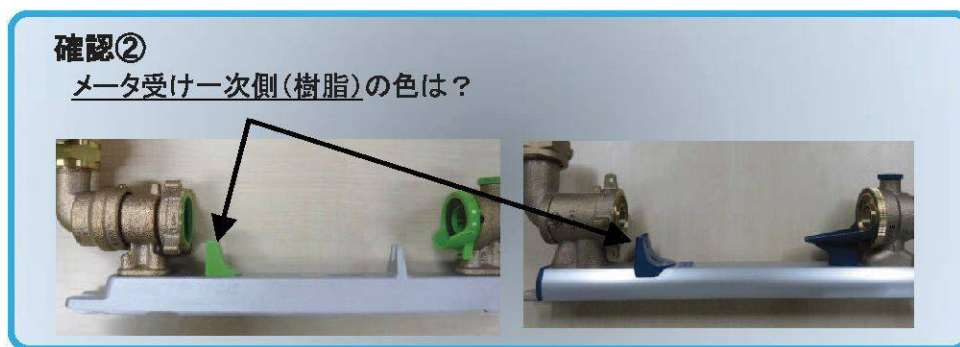
(株)タブチ



銀色

黒色

対象品番: MUT  
伸縮部のリングは取り外しが不可能な為、  
メータユニット全体の交換が必要です



緑色

紺色

対象品番: MUK4

リング:

呼び径13 P-21

呼び径20 P-21

対象品番: MUK, MUK2, MUK3

リング:

呼び径13 JASO 2022

呼び径20 JASO 2022

呼び径25 JASO 2026

## メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

【MUK, MUK2, MUK3の場合】

1. ユニオンナットと減圧弁(又は止水栓)の接続を解く



取り外し後

2. 一次側台座の小ねじ(2ヶ所)をプラスドライバーを用い取り外す



一次側台座

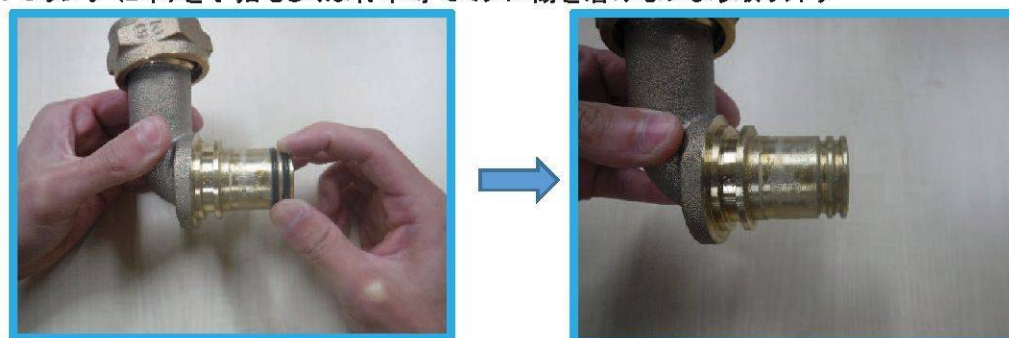
取り外し後

3. ユニオン部を一次側台座より引っ張り取り外す



ユニオン部

4. Oリング(2本)を手指もしくは竹串等でミゾに傷を着けないよう取り外す



※Oリングミゾ及び胴体内周シール面にスケール等が付着していた場合は  
水洗後にウエス等で拭き取る



## メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

【MUK, MUK2, MUK3の場合】

5. 右記の当社製リング(2本)にシリコングリス(信越シリコーンKS-65A相当品)をよく馴染ませ手指でリングミゾに装着する



呼び径	リング
13	JASO 2022
20	JASO 2022
25	JASO 2026

6. 取り外し工程1. ~3. の逆の手順で組付ける



ユニオン部差込み



小ねじ(2本) ドライバーで固定



完了

以上

## メータユニットの伸縮部Oリングの交換方法

(株)タブチ

### 【MUK4の場合】

1. メータ受け一次側を指で引張り取り外す



取り外し後

2. 送りハンドルを”S”方向に回し取り外す



取り外し後

3. Oリング(2本)を手指もしくは竹串等でミゾに傷を着けないよう取り外す



取り外し後

※Oリングミゾ及び胴体内周シール面にスケール等が付着していた場合は  
水洗後にウエス等で拭き取る

4. 右記の当社製Oリング(2本)にシリコーングリス(信越シリコーンKS-65A相当品)をよく馴染ませ  
手指でOリングミゾに装着する



呼び径	Oリング
13	P-21
20	P-21

# メータユニットの伸縮部リングの交換方法

(株)タブチ

## 【MUK4の場合】

5. 取り外し工程1. ~2. の逆の手順で組付ける



送りハンドルねじ込み



メータ受け一次 差込み



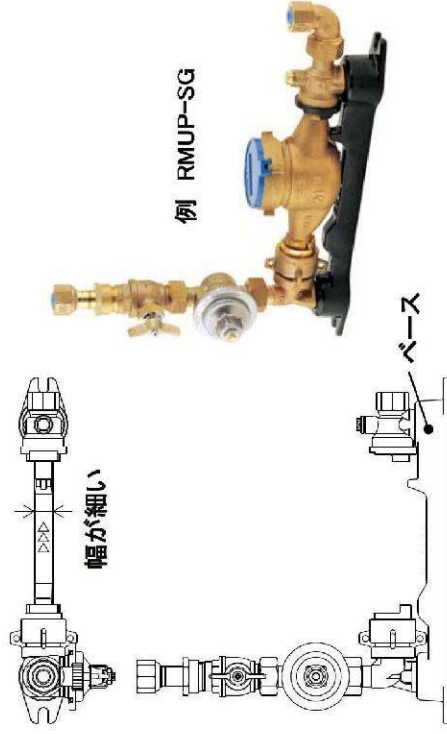
完了

以上



確認① ベース幅

細い(幅 17~20)



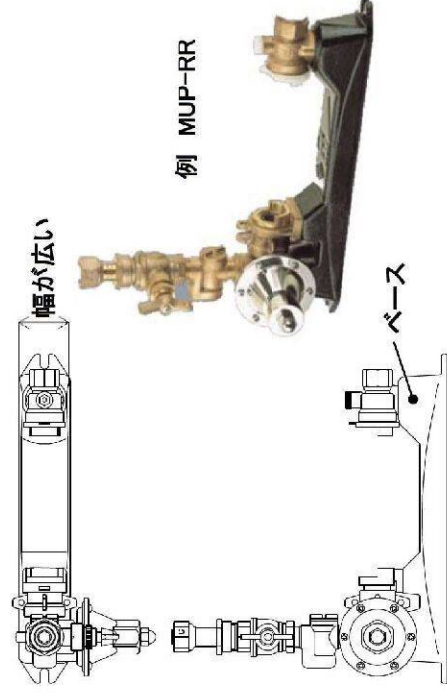
型式 : SMUP-VA-SG、SMUP-VA-S、SMUP-VA-A、RMUP-SG、RMUP-S、RMUP-A、SMUP II-A ERcSG、SMUP II-A ERc、SMUP II-A ERcARc、SMUP II-A RcSG、SMUP II-A RcESG、SMUP II-A Rc、SMUP II-A RcE、SMUP II-A RcARc、SMUP II-A RcEARc、SMUP II-A GSG、SMUP II-A GRc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERc、RMUP II ERcARc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERcESG、RMUP II Rc、RMUP II RcE、RMUP II RcARc、RMUP II RcEARc、RMUP II GSG、RMUP II GRc

**Oリング : P-20**

注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 A」を参照してください。

太い(幅 49~54)



型式 : MUP-VSS、MUP-VAS、MUP-VSA、MUP-VAA

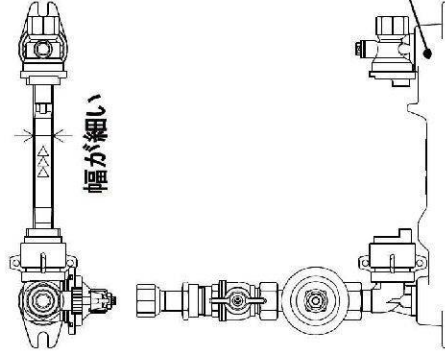
**Oリング : JASO1016**

注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B」を参照してください。

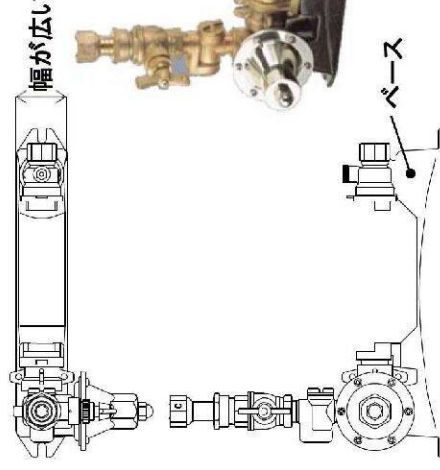
確認① ベース幅

細い(幅 17~20)



例 RMUP-SG

太い(幅 49~54)



例 MUP-RR

型式: MUP(A)-VAS、MUP(A)-VAS(I)、MUP(A)-VAA、MUPR(A)-R、MUPR(A)-R(I)、MUPR(A)-RA、MUPR(A)-L、MUPR(A)-L(I)、MUPR(A)-LA、MUP-RD、SMUP-VS-SG、SMUP-VS-S、SMUP-VS-A、SMUP-VA-SG、SMUP-VA-S、SMUP-VA-A、RMUP-SG、RMUP-S、RMUP-A、MUP-R・FD、SMUP II-A RcSG、SMUP II-A RcG、SMUP II-A Rc、SMUP II-A RcESG、SMUP II-A RcEG、SMUP II-A RcE、SMUP II-A GSG、SMUP II-A G、SMUP II-A GRc、RMUP II RcSG、RMUP II RcG、RMUP II Rc、RMUP II RcESG、RMUP II RcEG、RMUP II RcE、RMUP II GSG、RMUP II G、RMUP II GRc、SMUP II-A RcARc、SMUP II-A RcEARc、RMUP II RcARc、RMUP II RcEARc、SMUP II-A ERcSG、SMUP II-A ERc、SMUP II-A ERcARc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERc、RMUP II ERcARc、RMUPLT-RcSG、RMUP II-S RcESG、RMUP II-S RcE、MUP-R・FN-QJ

型式: MUP-VSS、MUP-VAS、MUP-VAS、MUP-VSA、MUP-VAA、MUP-RR、MUP-RL

Oリング : JASO2023

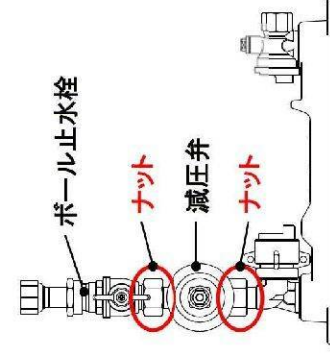
注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B」を参照してください。

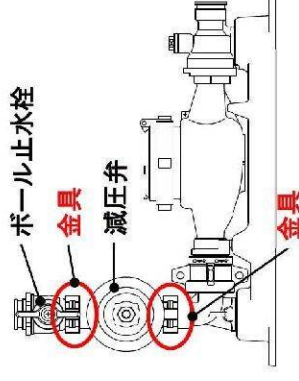


確認② ASSY の接続形状

ボール止水栓、減圧弁がナットで接続されている



ボール止水栓、減圧弁が金具で接続されている



型式：MUP(A)-VAS、MUP(A)-VAS(I)、MUP(A)-VAA、MUPR(A)-R、MUPR(A)-R(I)、MUPR(A)-RA、MUPR(A)-L、MUPR(A)-L(I)、MUPR(A)-LA、MUP-RD、SMUP-VS-SG、SMUP-VS-S、SMUP-VS-A、SMUP-VA-SG、SMUP-VA-S、SMUP-VA-A、RMUP-SG、RMUP-S、RMUP-A、MUP-R・FD、SMUP II -A RcSG、SMUP II -A RcG、SMUP II -A Rc、SMUP II -A RcESG、SMUP II -A RcEG、SMUP II -A RcE、SMUP II -A GSG、SMUP II -A G、SMUP II -A GRc、RMUP II RcSG、RMUP II Rc、RMUP II RcESG、RMUP II RcEG、RMUP II RcE、RMUP II G、RMUP II GRc、SMUP II -A RcARc、SMUP II -A RcEARc、RMUP II RcARc、SMUP II -A ERcSG、SMUP II -A ERc、SMUP II -A ERcARc、RMUP II ERcSG、RMUP II ERc、RMUP II ERcARc、RMUPLT-RcSG、RMUP II -S RcESG、RMUP II -S RcE

○リング：JASO2026

型式：MUP-R・FN-QJ

○リング：JASO2021 又は P-21

注意 ○リング交換の際は

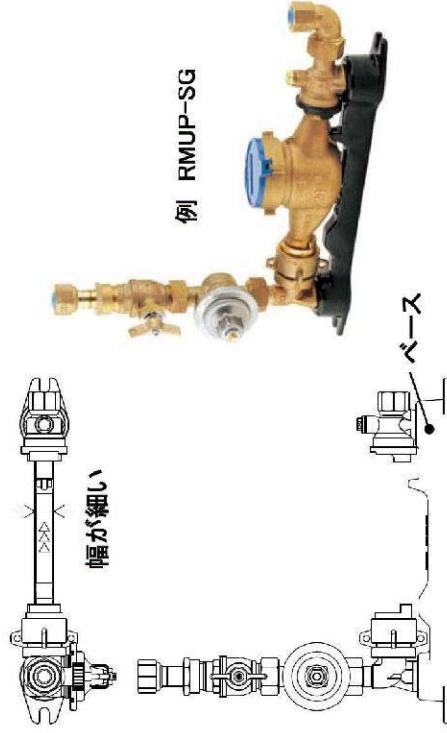
「メータユニット スライドホルダ ○リング交換手順 C」を参照してください。

注意 ○リング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ ○リング交換手順 A」を参照してください。

確認① ベース幅

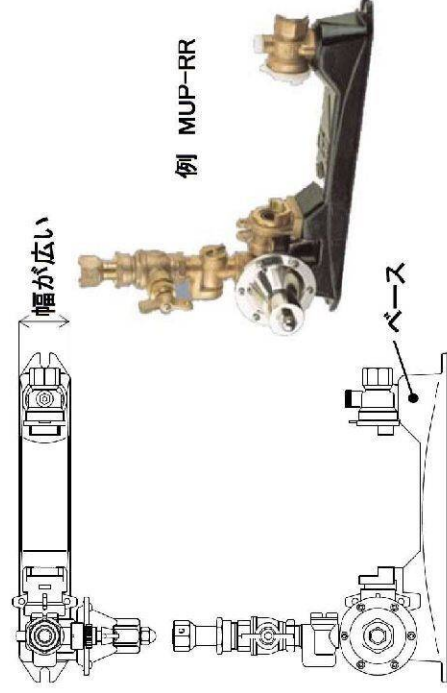
細い(幅 25~29)



例 RMUP-SG

ベース

太い(幅 67~73)



例 MUP-RR

ベース

型式 : SMUP-VA-SG, SMUP-VA-S, SMUP-VA-A, RMUP-SG, RMUP-S, RMUP-A, SMUP II -A RcSG, SMUP II -A RcESG, SMUP II -A Rc, SMUP II -A RcE, SMUP II -A RcARc, SMUP II -A RcEARc, SMUP II -A GSG, SMUP II -A GRc, RMUP II RcSG, RMUP II RcESG, RMUP II Rc, RMUP II RcE, RMUP II RcARc, RMUP II RcEARc, RMUP II GSG, RMUP II GRc, SMUP II -A ERcSG, SMUP II -A ERc, SMUP II -A ERcARc, RMUP II ERcSG, RMUP II ERc, RMUP II ERcARc

**Oリング : P-34**

注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ **Oリング交換手順 A**」を参照してください。

型式 : MUP-VSS, MUP-VAS, MUP-VSA, MUP-VAA

**Oリング : P-28**

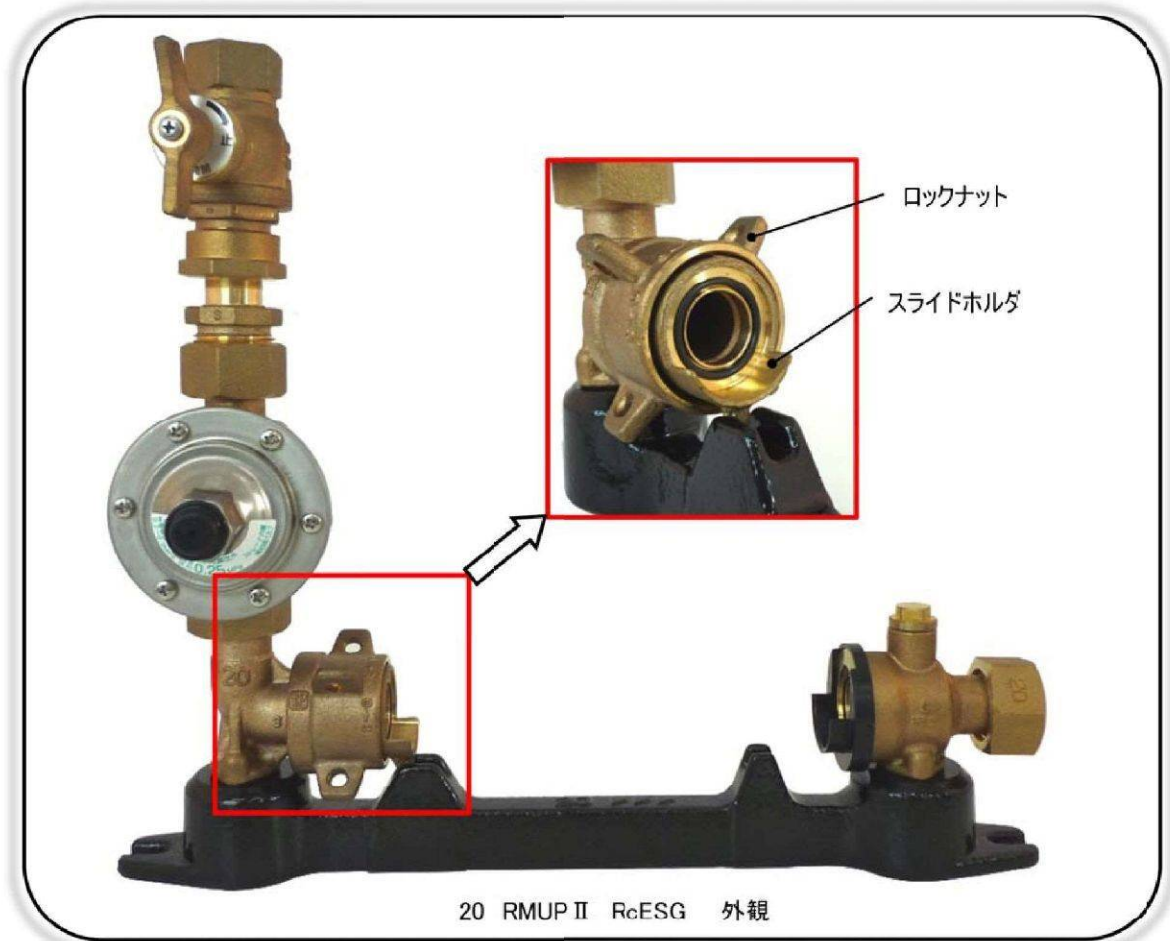
注意 Oリング交換の際は

「メータユニット スライドホルダ **Oリング交換手順 B**」を参照してください。

## メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 A

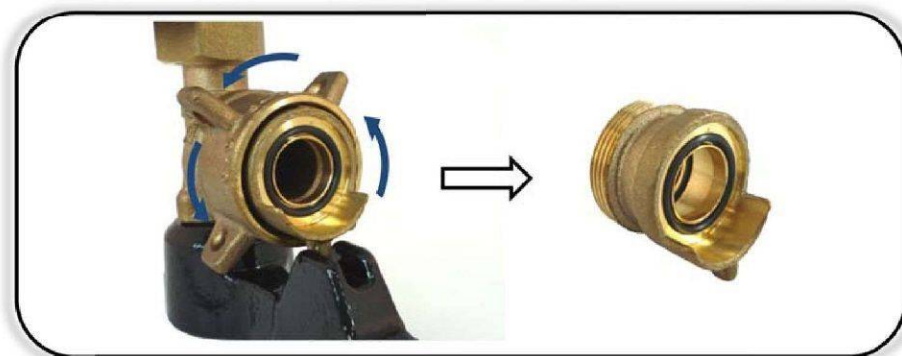
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 RMUP II RcESG」で行っていますが、RMUP、SMUP、SMUP IIも同様の手順で交換できます。



### 交換手順

1. ロックナットを矢印の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。



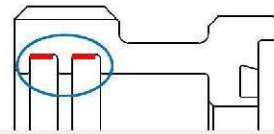


2. スライドホルダを手に取り、先端が尖っているものを用いて O リングを外す。



(注) 装着されている O リングは **1 本** の場合もあります。

(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中  
○印内の**赤太線面**に傷がつかないように注意する。

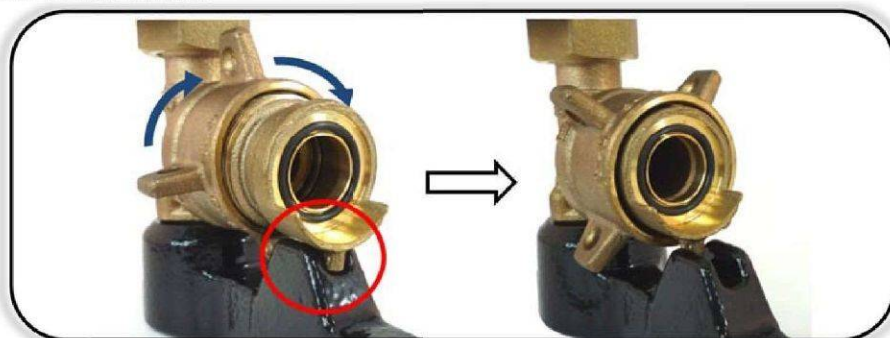


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜 (綿棒、ウエス等) 拭き取ってください。

3. 新しい O リングにグリスを塗り、O リングの先端を O リング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



4. スライドホルダを手で持ち、凸部をベースの凹部に入れて (○印)、ロックナットを**矢印**のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。



(注) RMUP、SMUP の場合は、スライドホルダにある目印 (○印) を下に向け、  
ロックナット内にある回り止めを探りながらロックナットを回し、スライドホルダ  
を後退させる。

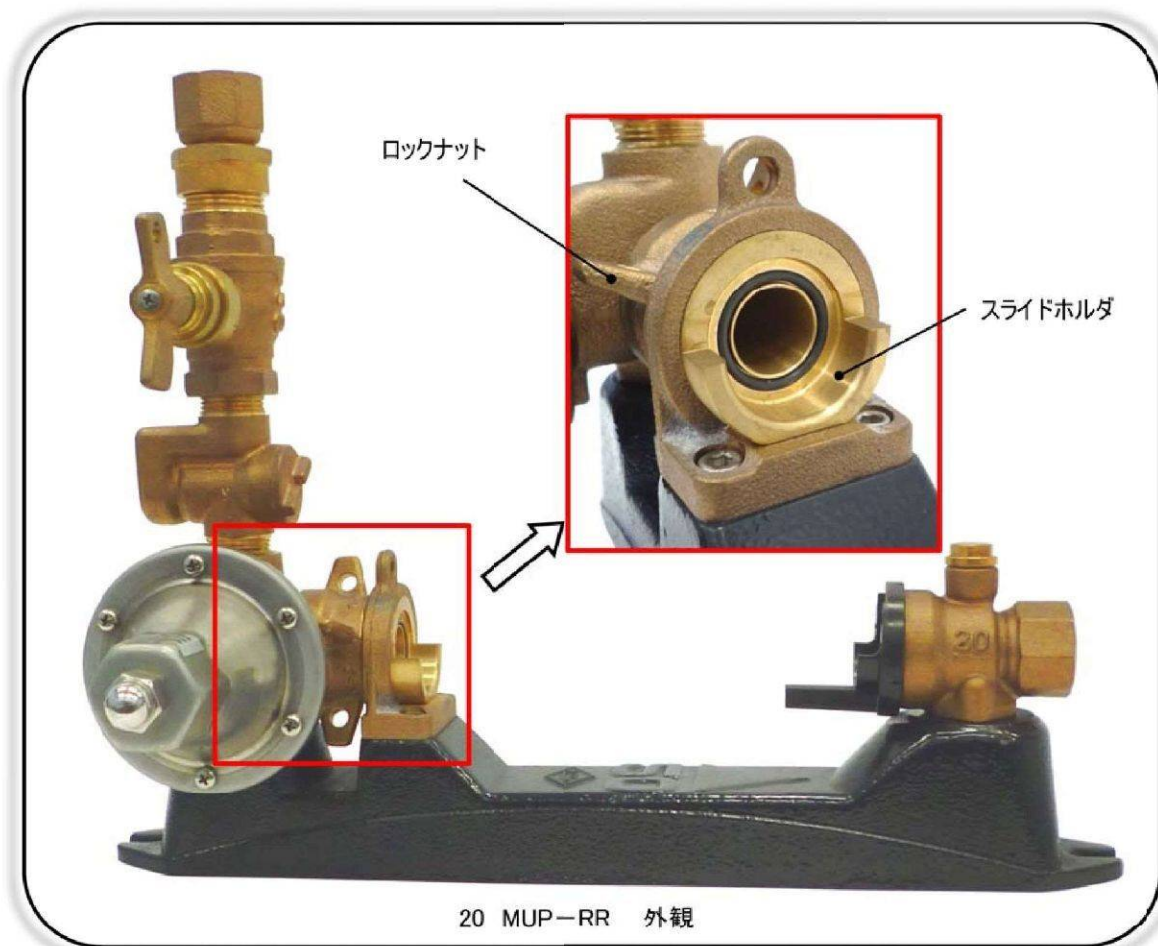
目印を下に向ける。



## メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 B

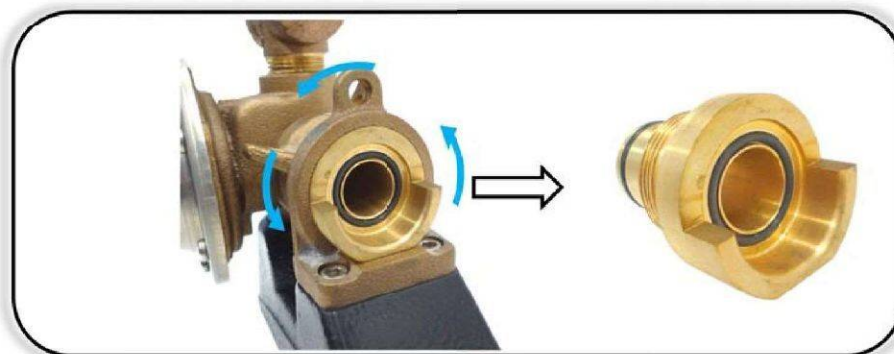
株式会社 日邦バルブ

例として、「20 MUP-RR」で行っていますが、MUP-RL、MUP-VAS 等も同様の手順で交換できます。

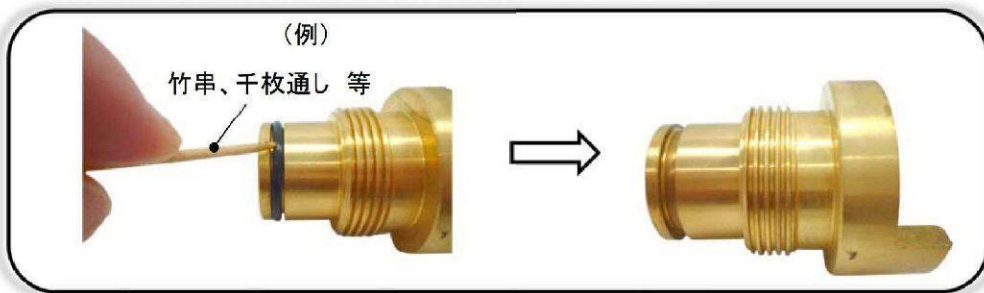


### 交換手順

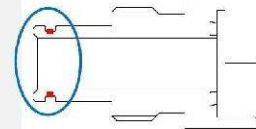
1. ロックナットを矢印の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。



2. スライドホルダを手に取り、先端が尖っているものを用いて O リングを外す。



(注) 千枚通しなどの金属製のものを使用する場合は、右図中  
○印内の赤太線面に傷がつかないように注意する。

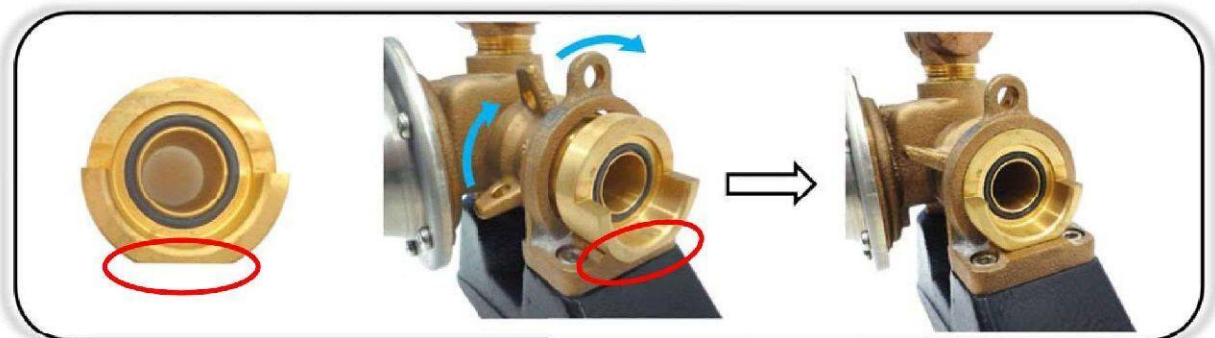


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等)拭き取ってください。

3. 新しい O リングにグリスを塗り、O リングを O リング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



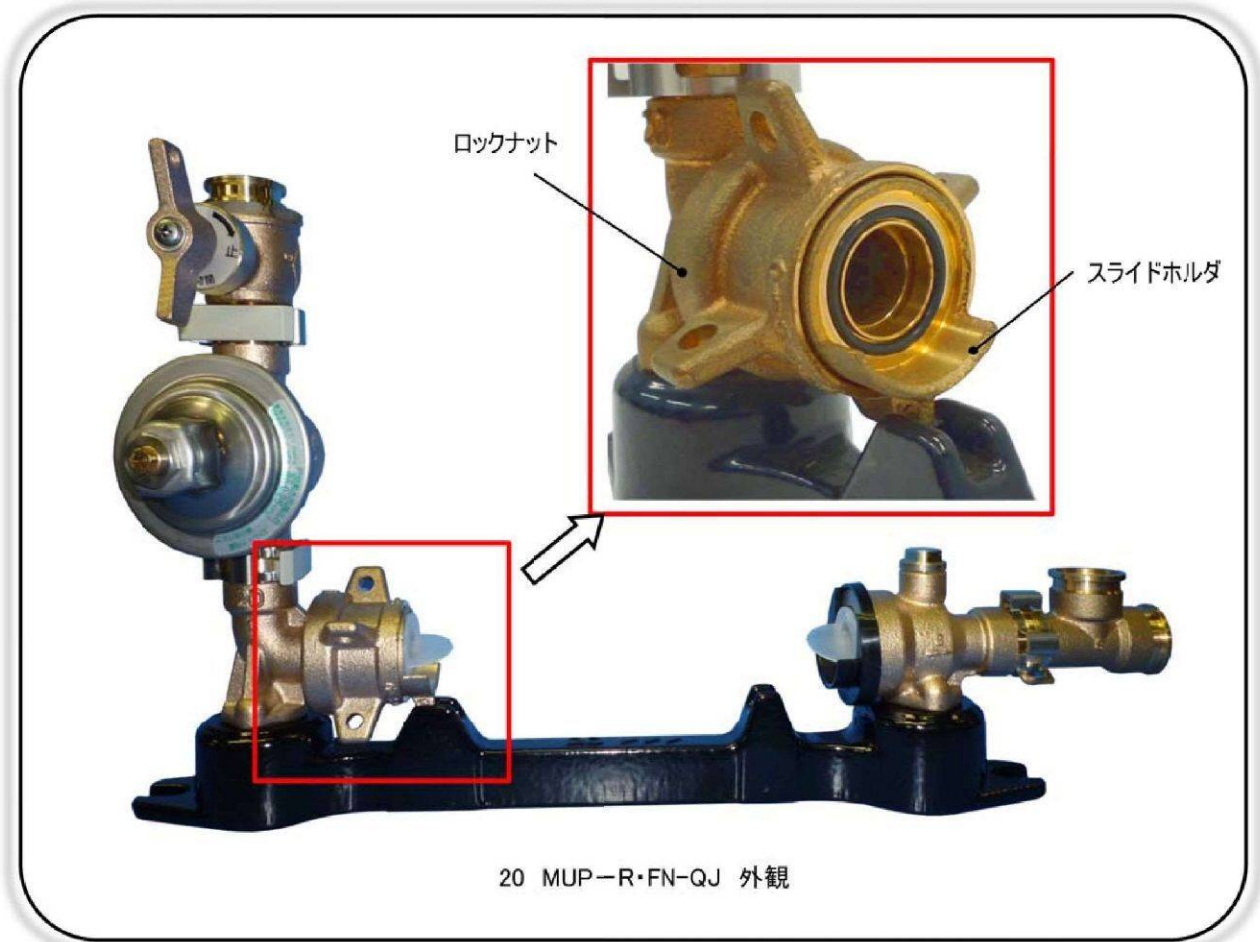
4. スライドホルダを手で持ち、平面部を下側にして(○印)、ロックナットを矢印のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。





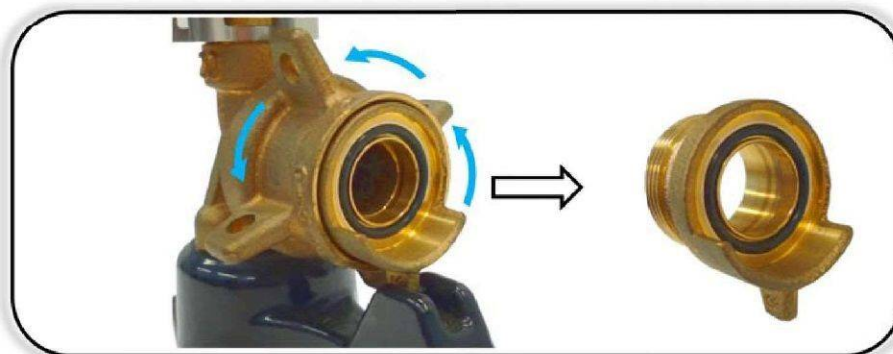
# メータユニット スライドホルダ Oリング交換手順 C

株式会社 日邦バルブ

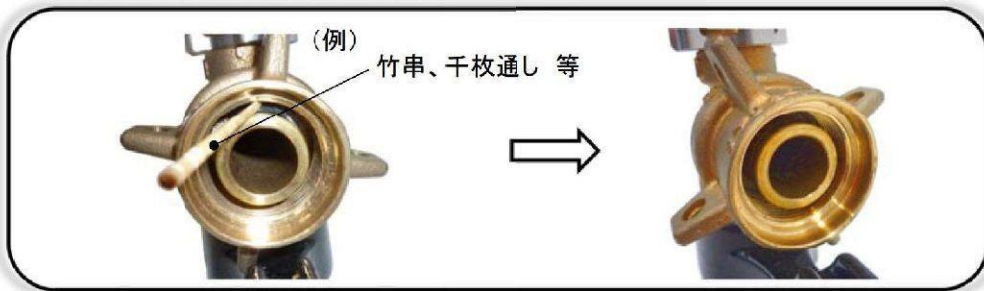


## 交換手順

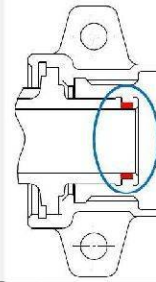
1. ロックナットを矢印の方向へ回転させ、スライドホルダを取り外す。



2. ロックナット内部の O リングを、先端が尖っているものを用いて外す。

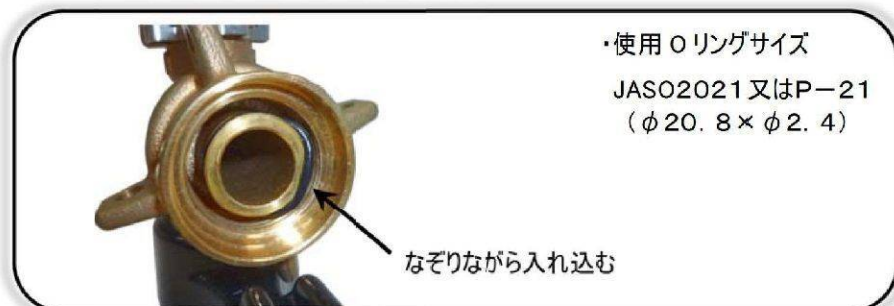


(注) 千枚通しなどの金属製のものをを使用する場合は、右図中  
○印内の赤太線面に傷つかないように注意する。  
(注) 先曲がりの工具(右写真)を使用すると取りやすくなります。

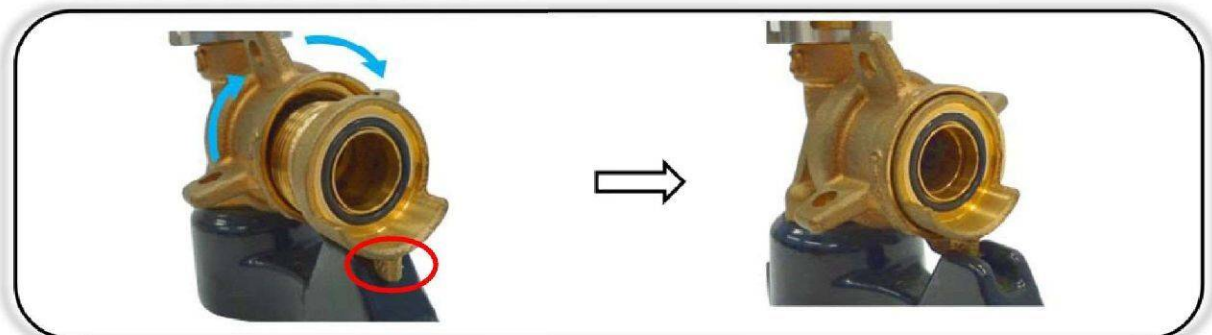


(注) スライドホルダを取った際に、付着した水垢・緑青を適宜(綿棒、ウエス等)拭き取ってください。

3. 新しい O リングにグリスを塗り、O リングを O リング溝に入れ、指でなぞりながら入れ込む。



4. スライドホルダを手で持ち、凸部をベースの凹部に入れて(○印)、ロックナットを矢印のほうへ回転させてスライドホルダを後退させる。





キットメータユニットの伸縮部メンテナンスについて  
【WM シリーズ】

添付

水道メーター定期交換時において、メータユニットの伸縮部メンテナンスが必要になる場合は、本マニュアルをご一読いただき、引き続きご使用になれますよう維持管理をお願い申し上げます。

■各部の名称とはたらき



■伸縮部メンテナンス必要用具 (WMシリーズ)

① Oリング [別途手配]

Oリングの損傷が著しい場合は要交換



② Oリング部清掃(交換)工具 [参考]

伸縮管のOリング部の清掃するときの工具



■その他のメンテナンスパーツ [別途手配]

◇メータパッキン

メータ交換時に交換(2ヶ所)



◇スライドハンドルセット

損傷が著しい場合に交換



(WMU-SHS)



■メンテナンス方法

メータ交換後に伸縮部から漏水がある場合は、次の要領で清掃（部品交換）をしてください。

注）作業前には必ず止水栓を閉じてください。

注）スライドハンドルの損傷が著しい場合は、スライドハンドルセットの交換をお奨めします。

- ① 止水栓を閉じたのち、スライドハンドルを開側（→○）に回して水道メータを取り外してください。  
注）このとき内部に溜まった水をトレイなどで受けてください。



①-1



①-2



①-3

- ② スプリングピンをプライヤーなどで、メータ側（流れ方向側に）曲げてください。



②-1



②-2



②-3

- ③ スライドハンドルを閉側（S←）に回してスライドハンドルセットを取り外したのち、エルボ胴またはユニオン胴の内面（伸縮部のシール面）をウェスなどで清掃してください。



③-1



③-2



③-3

- ④ 取り外したスライドハンドルセットを裏返し、伸縮管に装着のOリング部周辺を参考の工具などを用いて、付着物などを取り除き、清掃してください。

注）スライドハンドルセット [別途手配] ごと交換する場合は、この作業は不要です。



Oリング清掃工具 [参考]



④-1



④-2



④-3



- ⑤ エルボ胴又はユニオン胴にスライドハンドルセットをねじ込み、スライドハンドルを開側（→O）に止まるまで回してください。



スライドハンドルセット  
(損傷が著しい場合) [別途手配]



⑤-1



⑤-2

- ⑥ メータ受口溝が真下になるように伸縮管を回してください。②で曲げておいたスプリングピンをプライヤーなどで曲げ戻し、メータ受口溝内に収めてください。  
注) 曲げ戻したスプリングピンの上部がメータ受口溝より上に飛び出さないようにしてください。



⑥-1



⑥-2



⑥-3

- ⑦ 水道メータの流れ方向を確認してメータ受口に載置し、スライドハンドルを閉側（S←）に手で回して水道メーターを圧着固定してください。  
**※ 絶対にレンチなどの工具を使って締め付けしないでください。**  
注) 水道メータは逆取り付けできない構造になっています。



⑦-1



⑦-2



⑦-3

- ⑧ 止水栓をゆっくり開いて、漏水のないことを確認してください。  
注) 止水栓を開いたときに、水道メータのパイロットが回転したのちに止まること、スライドハンドル及びメータ受口周辺からの漏れがないことを確認してください。



⑧-1



⑧-2



⑧-3

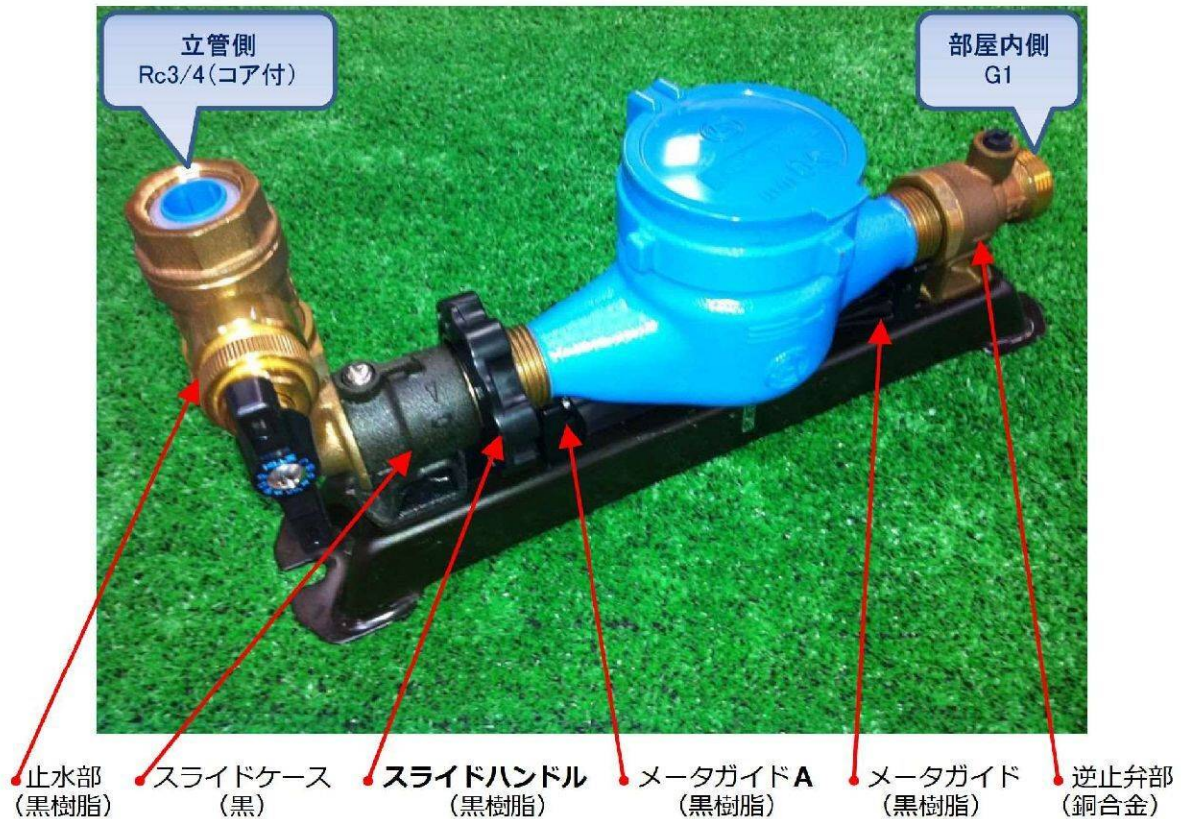
注) 作業後は、結束バンドを取り付け、元の状態に戻してください。



## キッツメータユニット (WU-シリーズ) のメンテナンス方法 説明書

◆メータ引換工事の際に漏水が発生した場合は、この説明書をご覧のうえメンテナンスをお願いします。

### ■各部の名称



### ■関連部材 (工具・メンテナンス部品 等)



Oリング(P21)



工具



メータガイドA



ハンドルナット(WU-SHS20)

☆適用 (スライドケース上部の小ねじ頭 (白) 又はユニットベース上部に改良済シール貼付けの機種)



※設置されたメータユニットが適用外の場合は、弊社事業所までお問い合わせ願います。



## Oリング部のメンテナンス手順（WU-シリーズの場合）

メータ引換工事の際に漏水が発生した場合は、次の手順でOリング部位を清掃してください。

◆ 作業前に止水栓を閉じたのち、スライドハンドルをO→方向に止まるまで回してください。

[工具使用禁止] ハンドルは工具などを使用せずに手で操作してください。



① メータガイド A を押出す



② メータガイド A を取外す



③ ハンドルを S→方向に回す



④ ハンドルを S→方向に回す



⑤ ハンドルを取出す



⑥ Oリング部の清掃又は交換



⑦ ハンドルを差込む



⑧ ハンドルを←O方向に回す



⑨ ハンドルは止るまで回す



⑩ メータガイド A を取付ける



⑪ メータガイド A を引込む



⑫ メータガイド A 取付け完成



⑬ ハンドルを S→方向に回す



⑭ メーターの取付け完了

\*異常の有無を確認したのち、元の状態に戻しておいてください。



⑮ 止水栓を開き異常の有無確認